

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101862
法人名	社会福祉法人 天祐会
事業所名	ララシャンズ七福神
所在地	鹿児島県鹿児島市城西一丁目1番5号 (電話) 099-206-2729
自己評価作成日	令和5年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設5年目の事業所です。市街地が近く、近隣にスーパーや公園があります。建物の2階、3階がグループホームの住居スペースで、1階は地域交流室となっております。NPO法人オレンジハート(社会貢献活動の実施、認知症カフェの開設と運営)と共同で地域との交流を図れる環境を整えており、いろいろな講習を定期的開催している。また、災害時には地域の方々の避難所として活用できるように備えている。4階は認知症対応型デイサービスがあり、一緒に勉強会をしたり職員間の交流もあります。心を込めた5つのケアをスローガンに心身機能活性運動療法(認知症改善プログラム)、アニマルセラピー、アロマセラピー、家庭的ケア、薬膳メニューを実施しています。企業理念の「その人らしい生命の尊重」をもとにご利用者様、ご家族様の「できたらいいなあ」を実現できる取り組みを行っている。セラピー犬をホーム内で飼っておりアニマルセラピーを実施している。また、薬膳の資格を持った管理栄養士が指導のもと薬膳料理も取り入れている。法人内研修も活発で、職員のスキルが向上できる仕組みがあり、人間力の向上にも努めている。

- ・当事業所は4階建てのビルで、2階と3階がグループホーム、4階は認知症対応型デイサービス、1階は地域交流室となっており、地域の町内会やお達者クラブ等に開放し、交流を図っている。災害時の避難場所にもなっている。近隣には公園やスーパーマーケット、飲食店等もあり利便性が高い環境にある。
- ・法人理念とビジョンを実現するために心を込めた5つのケアとして、心身体操、フィンガースポーツ、温熱療法等の心身機能活性運動療法、アニマルセラピー、アロマセラピー、心のつながりを大切にした家庭的なケア、週2~3回の薬膳メニューを提供している。職員も1:1での対話ができ利用者も穏やかな表情で過ごしている。
- ・法人は学びに力をいれており、各自が目標設定したハッスルシートやテクニカルシートがある。法人内研修も充実しており、職員のキャリアアップやスキルアップと働きやすい職場づくりを目指している。
- ・管理者は声掛けをしたり、LINE等でも意見が言える環境作りを心掛けている。職員も管理者には相談しやすく有給休暇も取得でき、切磋琢磨できる環境で楽しいと感じている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>毎日、昼礼の際に理念の唱和を行い、理念やビジョンに沿ったその人らしい生活実現ができるように取り組んでいる。</p>	<p>職員全員が揃う昼礼で「その人らしい生命の尊重」という理念を唱和し、ビジョンである「できたらいいなあ」を実現できるようケアの実践を行っている。自分の年間目標を月1回、ハッスルシートやテクニカルシートで振り返り、次計画に反映している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入し、回覧板で情報を得て地域の行事に参加できるように努めている。</p>	<p>町内会の回覧板で地域行事を把握し、行事への参加を心掛けている。散歩時の挨拶や公園でのゴミ拾いを行っている。1階の地域交流室を地域に開放し、お達者クラブ・町内会・あいご会の会議に利用してもらったり、災害時の地域住民の避難場所として提供する等、交流を図っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>運営推進会議などで相談等にお答えしたり、見学に来られた方や電話での問い合わせの際にお答えしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ禍であったため、開催を見送ったりリモートでの開催を行うなどできる限り開催し現状報告とご意見をいただき、サービスの質の向上に活かせるように努めている。</p>	<p>リモートでグループホームの現状報告やアクシデント、ヒヤリハット等の対応策の検討を行い、書面を郵送や持参し報告している。対面での開催を各事業所合同で開催し、現状報告と意見交換を行い、サービス向上に努めている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域の長寿あんしんセンターとの交流を図り情報交換を行っている。</p>	<p>市担当者とは更新手続きやオムツの申請等で窓口に出向いたり、電話で相談し助言を貰う等協力関係を築いている。市主催のオンライン研修にも参加し職員にも伝達している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人全体で委員会があり、またグループホーム内でも毎月開催している。すべての職員が禁止の対象となる具体的な行為を理解できるよう研修会に参加し、身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人全体の身体拘束廃止委員会で全職員が禁止となる具体的な行為について学んでいる。事業所でも毎月の全体ミーティングで具体的事例を出し、意見交換を行いアンケートを取っている。日中の玄関施錠はせず、外に出たがる場合は利用者に寄り添って支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束と同様、法人で委員会があり、グループホームでも毎月開催している。法人内研修に参加し、全職員が意識を持てるようにしている。また毎月啓発メールを委員会より送り、常に意識できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する研修を法人で開催し、理解を深めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結や解約に関しては重要事項説明書をもとに説明し、改定等の際にも十分な説明を行い不安や疑問な点がないか確認し理解、納得を得られるように丁寧に説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様の意見や要望に耳を傾け日常生活から要望をくみ取り、ご家族様にはご利用者様満足度アンケートやご意見箱の設置等にて要望、ご意見を伺い運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、行動からも汲み取っている。家族からは定期的な家族会、年1回の満足度アンケート調査や面会、電話で利用者の現状を報告し、意見や要望を聞いている。コロナ禍の中だが面会希望が多かったため、会議室で感染対策を取ったりリモートでの面会を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体ミーティングやユニットミーティングの際に提案や意見を話し合っている。法人の代表へ直接意見を伝える機会があり反映させている。</p>	<p>ユニットミーティングや昼礼、全体ミーティング、日々の関わりやLINEでのやりとりで意見や要望を聞いている。個人面談は2ヶ月に1回実施しており法人理事にも相談している。清掃時間帯の変更や福祉用具を活用することで職員の負担軽減に繋がっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアプランシートの作成を行い各自が目標を達成できるように支援がある。キャリア段位制度、評価調整会議があり各自が向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>キャリアプランシートの作成を行い、目標に対して毎月の進捗管理ができるハッスルシートやテクニカルシートがあり、法人内外の研修参加も行きキャリアアップ、スキルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内の他事業所との交流会を開催したり委員会活動や研修への参加を行いサービスの向上に努めている。GH協議会に加入し、研修会に参加、情報を得てサービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>安心して生活を送れるように本人の不安や要望を傾聴し、誠実丁寧な対応を行い信頼関係を築けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい雰囲気づくりを心掛け個々にあったサービス提供に努めている。差し入れ等を届けていただいた際や面会時にも雰囲気作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービスの利用段階で「その時」に必要とされている支援内容をご本人様、ご家族様の状態や意向に沿って見極め、他サービスの利用も含めた対応に努めている。（訪問マッサージなど）</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>毎日の生活においてご本人様のできることやこれまでの習慣を尊重し、その方の暮らしに寄り添える関係性を大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の状態に合わせてご家族様の協力を得ながら共に支えている。コロナ禍で十分な面会ができないが毎月のお便りや差し入れの際に短時間対面していただき本人家族の絆が途切れないように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で十分な面会ができない中でも、感染対策を十分に行い必要に応じて面会や外出を行っている。遠方の方とはzoom面会やお電話等、関係性の継続に努めている。	玄関口での面会やリモート面会、家族からの定期的な差し入れや電話での交流を大切にし、手紙や年賀状等の取り次ぎも行っている。家族の協力で外泊やお寺への外出、ドライブ支援を行う等、馴染みの人や場所との関係性の継続に努めている。馴染みの訪問理美容師も活用している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おひとりおひとりに寄り添いながら日々の状態を観察し、スタッフを交えながら利用者同士がコミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの終了の際にはグループホームでの生活がわかる写真やメッセージをお送りし、必要に応じて相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	おひとりおひとりの生活歴や思いを尊重しながら希望や意向の把握に努めている。困難な場合はカンファレンスやご家族様へも確認しながら本人本位に検討している。	ケア時やリビングで声掛けし、日々の関わりの中で思いや意向の把握に努めている。困難な場合は表情の変化やジェスチャー、記録等から職員間で意見交換をし、家族と連絡を取って確認しながら、本人本意に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や暮らしをご本に様やご家族様などから情報を得て把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活を通して心身の状態を観察、情報からアセスメントし現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者が介護記録や職員から情報収集を行い、ケアのあり方や課題を抽出し、本人、家族、関係者と話し合い意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	利用者と家族の意向を聞き、職員、主治医、薬剤師、訪問マッサージ等の意見をもとに介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、6ヶ月で見直している。状況変化時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践を個人記録に記録しユニット内で情報共有しケアのあり方や計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>基本的な個人の生活、24時間シートに基づき支援を行っているが、本人、家族の状況、その時々生まれるニーズに対応し柔軟な支援サービスに努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の公園にでかけ、清掃を行ったり、お御堂をお参りするなどして本人の心身の力が発揮できるような支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時にかかりつけ医を本人、ご家族様の意向にて決定している。各医療機関とご家族様と連携を行い、24時間必要時適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医となっており、定期受診や往診を受けている。結果は毎月のホーム便りや電話で報告している。訪問看護も月1回あり、毎日の職員看護師の健康チェックで各医療機関や家族と連携しながら24時間適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所に看護師の配置があり、連携を図っている。必要時訪問看護師に連携し個々のご利用者様が適切な医療や、看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医に情報提供や相談を行い、早期退院できるように病院関係者と情報交換を行い良好な関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や、終末期についてはご本人やご家族様と方向性を話し合い共有している。事業所内でできることを十分に説明し段階に応じて看取りの意向に沿えるようチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時マニュアルに基づいて説明し同意書も貰っている。重度化した場合は主治医から家族へ説明があり、意向の再確認を行い方向性を共有しながらチームで看取り支援を行っている。職員は「エンゼルカンファ」を行い振り返っている。看取り終了後は家族宛に手紙を送る等、グリーフケアを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は急変や事故発生時に備え情報共有に努め、対応力を身につけ行動できるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2階の火災、災害避難訓練を行っている。地域の方へ避難場所として開放し、必要時に協力いただける協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防災訓練を実施し、1回は消防署立ち合いのもと昼間の火災想定で通報・避難誘導・消火の総合訓練を行っている。1回は自主で夜間想定での通報訓練を実施している。緊急時は地域住民の避難場所になっている為、必要時の協力体制は構築している。備蓄は水・米・味噌汁・スープ・インスタントラーメン・缶詰・カレー等のレトルト食品を3日分と自家発電・カセットコンロ・懐中電灯を準備している。法人全体で考えてBCPを作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>研修や日々のケアの中で職員への意識付けを行い、排泄支援においては特にプライバシーと尊厳を損なわない対応に配慮している。</p>	<p>法人全体で人権擁護の研修や接遇委員会があり、事業所内では認知症ケアの資料を配布し、言葉遣いや対応について学習している。排泄時や入浴時の声掛けの工夫、ドアの開閉、必要な物品はバッグに入れて持ち運ぶ等、羞恥心に配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご利用様が自己決定できるよう環境に配慮し、思いや希望を表現できるよう信頼関係を築けるよう努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご利用様ファーストで支援を行い、個々の24時間シートをもとにお一人お一人のペースに合わせ、またその日その日の希望に沿って支援をしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に訪問カットを利用しヘアカットやカラーを行っている。ネイルを行ったり、衣類はご本人の意向を大切に支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お一人お一人の好みに合わせた食事に配慮し、ご利用者様と職員とともに準備やかたづけを行っている。行事食や薬膳メニューを取り入れ季節ごとの旬の食材を利用し食事が楽しみなものになるよう工夫している。	法人栄養士のアドバイスを受け、職員が献立作成し、専従の調理担当と職員で調理している。月1回薬膳委員会があり、週2～3回薬膳料理を提供している。誕生日は手作りケーキでお祝いし、行事食やおやつを手作りする等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。利用者の力量に応じて職員と一緒に準備や片付けを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の状態や力、習慣に応じた食事形態、水分補給を工夫し提供を行い摂取量の把握を行いながら必要な一日了を確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	基本的に毎食後口腔ケアのお声掛けをしその方の状態に合わせた口腔ケアの支援を行い、口腔内の状態を把握、清潔を保持できるように努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人お一人の排泄パターンを把握しその日の状態も把握しながら、トイレでの排泄支援やお声掛けを行い自立に向けた支援に努めている。	排泄チェック表で個別の排泄パターンを把握し、状態を見ながらトイレ誘導の声掛けをして日中の排泄支援を行っている。排泄用品は利用者に応じて対応している。リハビリパンツから布パンツになった事例があり、自立に向けた支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	おひとりお一人の排便パターンを把握し、水分摂取やヨーグルト、便通茶などをお食事、体操などからも便通改善に取り入れながら、その方に応じて早めの便通調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お声掛けをしながらその方の希望やタイミングに合わせて入浴へ案内している。ここに合った入浴支援を行い楽しく心地よい時間となるよう支援に努めている。	基本的に週2回の支援でリフト浴やシャワー浴・足浴など身体状況に応じて支援している。順番や湯温は希望で対応し、入浴剤やゆず湯等を取り入れた支援を行っている。嫌がる場合は声掛けの工夫、日程変更して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別の24時間シートを確認しながら、その日の状態やご本人の希望に合わせてソファや居室での休息、体操や歌レクなどの活動を行い安眠に向けた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をファイリングし職員が把握できるようにしており、服薬支援と症状の変化の確認に努めている。必要時にはご本人、ご家族様へお知らせやご説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の生活歴の把握や日常の役割嗜好品の提供等を行いながら毎月の行事等を通し楽しみや気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍の影響で自粛はあるものの近くのスーパーや公園等への外出を行っている。	近隣公園への散歩で季節を感じたり、スーパーマーケットへ買い物に行っている。甲突川沿いの桜の花見や木市に出掛けたり、ドライブで車窓からコスモス見物をしている。家族の協力ももらいながら外泊や馴染みの場所へ外出を行う等、支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお預かり金をさせていただきその中からいつでも本人の希望する物や必要なものを買う物に行けるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	いつでも電話や手紙を書くことができるように支援している。ご家族様からのお手紙をお渡ししお伝えし支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルの数を多くし個々に合わせた対応をしている。ソファや玄関近くに椅子を設置し好きな場所で過ごせるよう支援している。また加湿器や空気清浄機、アロマを用い居心地よい空間作りに努めている。	リビングには自分たちが育てたゆりや菖蒲の花が活けてあり、季節感のある手作りの作品や日めくりカレンダーが飾られている。空気清浄機、加湿器、サーキュレーター、エアコンで適切な室温度を調整している。セラピー犬が癒しとなり、アロマも用いて居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人お一人の希望に合わせた過ごし方ができるよう工夫をしている。ソファやテーブル席を多く設け自由に利用できるように工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を持ち込んだりご本人様が居心地良いと思える居室をご本人様、ご家族様に相談しながら設えを行っている。	居室は電動ベッド・エアコン・カーテンが備え付けられ、馴染みの寝具・タンス・飾り棚・冷蔵庫・ソファ・テレビ・ラジオ・時計・孫や家族写真等の持ち込みがある。自作の作品も飾り、居心地良い居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方に合わせた生活ができるよう状態把握に努め安全に自立した行動ができるよう環境を整備している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない